

令和2年第2回定例会9月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会議については、原則マスクを着用し、換気等の措置を実施の上行いますので、ご理解とご協力をお願いします。  
風邪症状（熱、咳、くしゃみ、鼻水等）のある方は、傍聴をご遠慮願います。

発 言 順 位

9月15日（火）

- (1) 林 健太 議員（自民党 真誠会）…………… P 1
- (2) 梅田 宏希 //（公明党）…………… P 2
- (3) 筒泉 寿一 //（維新の会）…………… P 4
- (4) 出雲 晶三 //（未来明石）…………… P 5
- (5) 榎本 和夫 //（自民党 真誠会）…………… P 7
- (6) 飯田 伸子 //（公明党）…………… P 8
- (7) 森 勝子 //（維新の会）…………… P 9

9月16日（水）

- (8) 丸谷 聡子 //（未来明石）…………… P 10
- (9) 穂原 成人 //（自民党 真誠会）…………… P 12
- (10) 松井 久美子 //（公明党）…………… P 13
- (11) 北川 貴則 //（維新の会）…………… P 14
- (12) 寺井 吉広 //（自民党 真誠会）…………… P 16
- (13) 国出 拓志 //（公明党）…………… P 17
- (14) 楠本 美紀 //（日本共産党）…………… P 19

9月17日（木）

- (15) 宮坂 祐太 //（フォーラム明石）…………… P 21
- (16) 竹内 きよ子 //（明石かがやきネット）…………… P 22
- (17) 家根谷 敦子 //（スマイル会）…………… P 24
- (18) 辻本 達也 //（日本共産党）…………… P 25
- (19) 吉田 秀夫 //（フォーラム明石）…………… P 26
- (20) 林 丸美 //（明石かがやきネット）…………… P 27

※順位については予定です。

発言順位	1	議員名	林 健 太 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<b>1 令和元年度決算状況を踏まえた持続可能な財政運営について</b>		
	(1) 実質単年度収支について (要旨) 実質単年度収支が約5億4千万円の赤字となっている。要因と今後の対策を問う。		
	(2) 扶助費の増加について (要旨) 扶助費が年々増加傾向にある。市民サービスに直結する事業にかかる経費であり、一度始めると中止しにくい事業も多いが、毎年新たに事業展開をしている。財政を持続可能なものとするため、必要性について一度精査するべきではないか、認識を問う。		
(3) 水道事業について (要旨) 現在、全国的に大口法人が水道水から地下水への切替えを進めている傾向にあり、本市でも例外なくその傾向がある。水道使用量が減れば料金収入も減り、経営が厳しくなるが、今後、施設整備も含めた維持管理をどのように行っていくのかを問う。			
<b>2 工場立地法における緑地面積率について</b>			
(1) 現状について (要旨) 緑地面積率の緩和について検討を行う「(仮称)緑のあり方に関する検討会」の開催状況はどうなっているのかを問う。			
(2) 今後について (要旨) コロナ禍で経済状況が低迷している今だからこそ、基準緩和の早期実現が必要と考えるが、見解を問う。			
<b>3 アフターコロナ、ウィズコロナを踏まえて</b>			
(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使途について (要旨) これまでの使途及び残額について問う。			
(2) キャッシュレス決済の導入について (要旨) 庁内及び市民センター等の出先機関においてキャッシュレス決済を導入しないか問う。			
(3) キャッシュレス決済を活用した事業について (要旨) 来年度初旬に市民生活応援と地域活性化の両面を目指す事業としてキャッシュレス決済を活用した事業を行わないか、見解を問う。			

発言順位	2	議員名	梅田 宏希 (公明党)
発言事項	<p><b>1 議案第83号 令和元年度明石市一般会計歳入歳出決算について</b></p> <p>(1) 財政指標の悪化と今後の市政運営について  (要旨) 令和元年度の財政構造の状況を見ると、経常収支比率、実質公債費比率がともに悪化しており、財政構造の硬直化が懸念される。</p> <p>現在、新型コロナウイルス禍にあり、経済の低迷と雇用の先行きが不透明である。そのような中、次期ごみ処理施設の建て替え、市役所新庁舎の整備、老朽施設の整備、災害対策など、喫緊に進めていく事業が予定されている。</p> <p>市民の安全・安心と財政の健全化を進めながら「SDGs 未来安心都市・明石」をどのようにして構築するのか、お考えをお答えください。</p> <p>(2) ふるさと納税促進事業について  (要旨) 令和元年度のふるさと納税事業の寄付額が前年度の2倍を超え、制度開始から11年目にして初めて収支が黒字となりました。令和元年度の事業評価と課題、今後の取組についてお答えください。</p> <p><b>2 本市中央部の交通対策について</b></p> <p>(1) 江井ヶ島松陰新田線と山手環状線の整備について  (要旨) 江井ヶ島松陰新田線について、市は6月議会の本会議において、「議会と連携して神戸市側の早期着手を要望する」と答弁した。そしてこの間、議会では正副議長を中心に神戸市議と協議を進めている。</p> <p>市長は先日、神戸市に玉津大久保線整備の要望書を直接手渡したとのことですが、神戸市の対応についてどのように受け止めたのか。山手環状線も含めた、今後の取組をお答えください。</p> <p>(2) 明石サービスエリアを活用したスマートインターチェンジ整備について  (要旨) 大久保北部では、上記の2幹線道路整備に加え、令和6年度に明石サービスエリア付近で神戸西バイパスが第二神明道路と接続する。この高規格道路と2つの幹線道路を明石サービスエリアとスマートインターチェンジで連結することにより、大久保北部は道路ネットワークの重要拠点となる。スマートインターチェンジの整備により、利便性の向上、渋滞緩和、石ヶ谷公園と連携した明石サービスエリアの事業展開等が可能となり、魅力ある地域に変貌することは間違いないと思いますが、お考えをお答えください。</p>		

発言順位	2	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p><b>3 住民票の写し等のコンビニ交付サービスについて</b></p> <p>(1) コンビニ交付サービスが未導入の理由について  (要旨) 市民から中核市でありながら、なぜ住民票などのコンビニ交付をしないのかと指摘された。総務省もマイナンバーカードを利用した住民票等のコンビニ交付サービスを推進している。全国のコンビニ等で「いつでも、どこでも、すぐに」証明書が取れるとして、全国の地方自治体にサービスが拡大している。既に全市区町村1,741自治体中751自治体が実施、県下では41市町中32市町が実施しており、実施率は78%となっている。市民本位の行政運営を掲げながら、最も身近な市民サービスを実施しない理由をお答えください。</p> <p>(2) コンビニ交付の前提となるマイナンバーカード取得について  (要旨) サービスを開始しても、マイナンバーカードがなければ利用できない。国はマイナポイント事業等を通じてマイナンバーカード取得を積極的に進めている。本市のマイナンバーカード取得推進策についてお答えください。</p> <p>(3) コンビニ交付システム導入について  (要旨) 総務省はコンビニ交付の普及に力を入れており、財政力を理由に実施していない小規模市町村に対しては、初期費用の全額を負担する実証実験への参加を呼び掛けている。本市はこの対象とはなりませんが、市民サービス向上のため、早急にコンビニ交付システムの導入を決断すべきと考えます。</p>		

発言順位	3	議員名	筒 泉 寿 一 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p><b>1 明石の海の在り方について</b></p> <p>(1) 新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言前後の海の環境、漁獲量の変化について  (要旨) 緊急事態宣言下において海の環境が改善したと考えるが、市の認識を問う。</p> <p><b>2 SDGs 未来都市としての取組について</b></p> <p>(1) SDGs への取組について  (要旨) 本市がSDGs 未来都市に選定されたことを受け、今後SDGs に対して市としてどのように取り組むのか。また、どのようにその取組を課題解決へつなげるのか。市の見解を問う。</p> <p><b>3 森林環境譲与税について</b></p> <p>(1) 森林環境譲与税の使途について  (要旨) 森林が少ない本市としては、他市と連携を行い間伐材を使用した取組を行うなど、社会課題に向き合うべきだと考える。市の見解を問う。</p> <p><b>4 少年自然の家について</b></p> <p>(1) 利用停止が予定されている市立少年自然の家について  (要旨) 設備老朽化の改善、維持管理費の削減など、方法によっては今後も十分に利用継続は可能と考える。市の見解を問う。</p>		

発言順位	4	議員名	出雲 晶三(未来明石)
発言事項	<p><b>1 明石川の治水とJR明石川橋梁工事について</b></p> <p>(1) JR明石川橋梁工事に係るこれまでの取組と今後の予定について  (要旨) 当該工事は予算規模が約41億円と規模の大きな事業と聞いている。また、国の補助金の決定においても予算上有利な措置が講じられているとも聞いている。県が行う事業ではあるが、そうしたことを含め、事業化までの取組と、令和7年度の完成に向けて確実に工事を実施していく上での工程を聞く。</p> <p>(2) 改築工事後の治水効果について  (要旨) 近年、多くの地域で浸水被害が発生している。このJR橋梁工事完成により浸水リスクを軽減し、明石川流域を水害から守ることができるのか、事業効果を聞く。</p> <p>(3) 工事中の環境への配慮や交通安全対策について  (要旨) 大規模かつ長期間にわたる工事となるため、騒音や振動など生活環境への影響が懸念される。また、資機材の搬入経路上には通学路もあることから、地域住民の通行の安全確保についても心配である。このことから、環境に配慮した工法等の工夫、地域住民への工程の周知や連絡調整、及び周辺道路における安全対策について聞く。</p> <p><b>2 令和元年度の明石市決算と今後の財政運営について</b></p> <p>(1) 一般会計の単年度収支と実質単年度収支が赤字であることについて  (要旨) 本市の令和元年度一般会計決算における単年度収支が約2億5千万円の赤字であり、4年連続の赤字である。また、実質単年度収支も約5億4千万円の赤字である。財政基金等3基金の残高も5億円減少して110億円になっている。どのような組織であっても収支不足、赤字は不可である。地方自治体の財政においてもしかりで、年度ごとの収支均衡を基本に財政運営されるべきである。このたびの決算における赤字の要因と評価を聞く。</p> <p>(2) 財政指標の悪化について  (要旨) 地方自治体を運営する上において重要とされる4指標、財政力指数、経常収支比率、公債費負担比率、基金残高比率が悪化している。経常収支比率については4年連続の悪化である。待機児童対策費等の扶助費の増大が一つの要因と言われているが、これら財政指標の悪化についての要因と評価について聞く。</p>		

発言順位	4	議員名	出雲 晶三(未来明石)
発言事項	<p>(3) これからの健全財政構築と財政健全化推進計画の進捗状況について  (要旨) 今後、こども医療費無料化、保育所運営に係る幼保給付費等の扶助費の増加が見込まれる。さらに、本庁舎の建て替え、ごみ焼却施設の整備、老朽化した都市基盤の再整備など、投資的経費の増加や、先が見えない新型コロナウイルス禍での医療費や市民生活への支援の増加等、財政負担がかなり大きくなると推測される。</p> <p>本市は将来の財政運営の見通しをどのように考えているのか。財政は持続可能でなければならないが、これからの財政運営をどのような心構えで行うつもりなのかを聞く。また、財政健全化推進計画の進捗状況も聞く。</p> <p><b>3 県立がんセンターの建替整備について</b></p> <p>(1) 県立がんセンターの建替整備事業における北側緑地について  (要旨) 県立がんセンターの建替整備事業により、9月14日以降、市民は緑地に入れなくなるのか。広報あかしに掲載された小さな記事と、緑地の入り口に掲示されている看板だけで、緑地を利用している市民等の理解が得られるのか、考えを聞く。</p> <p>(2) 県立がんセンターの建替整備に係る意見・提案等について  (要旨) 県立がんセンターは、県内トップのがん医療病院で、高度先進医療を県下の先頭に立って推進している医療機関であり、最先端の高度ながん医療を提供している病院である。県は、現病院が老朽化し狭隘化していることから、建替整備をしようとしている。地元自治体である本市は、県に対して、市民・県民のためになるような意見・提案等を行ってきたのか。また、これから行うつもりはあるのかを聞く。</p> <p>(3) 現病院の跡地について  (要旨) 県の予定では、令和7年に新病院が開院した後、令和9年には旧病院が解体され、現病院跡地に約3万2千㎡の更地ができるようである。もし可能ならば、建替整備が議論されている明石市民病院、約3万㎡の建替整備用地として、借地もしくは市有地と交換することができればと考えるが、見解を聞く。</p>		

発言順位	5	議員名	榎本和夫(自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 高丘校区小中一貫教育校について</b></p> <p>(1) 小中一貫教育校を設置する目的と効果について (要旨) 設置目的と予想される効果について問う。</p> <p>(2) 小中一貫教育校における特色ある取組について (要旨) 小中一貫教育校設置は、6・3制では成し得ない取組があるからだと考えるが、その取組について問う。</p> <p>(3) 小中一貫教育校の組織等について (要旨) 小中一貫教育校の組織、名称、校章、校歌、通学区域について問う。</p> <p><b>2 市長の市政運営について</b></p> <p>(1) 兵庫県知事とのやり取りについて (要旨) 8月3日の知事とのオンライン会議でのやり取りについて、本意を問う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染防止に向けた共同メッセージについて (要旨) なぜ参加しなかったのかを問う。</p> <p>(3) 記者会見での発言について (要旨) 先走った情報発信が多いように思われるが、どうお考えなのかを問う。</p>		



発言順位	6	議員名	飯田 伸子(公明党)
発言事項	<p><b>1 新型コロナウイルス感染拡大期に備えた本市の医療体制の構築について</b></p> <p>(1) 季節性インフルエンザの感染拡大にも備えた本市の医療体制の構築について  (要旨) 新型コロナウイルス感染症に季節性インフルエンザの感染拡大が加わることによる医療崩壊を防ぐために、市全体が一丸となった医療体制を早急に構築すべきと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス及び季節性インフルエンザ感染疑い患者の診察・検査における民間医療機関との連携制度について  (要旨) 新型コロナウイルス及び季節性インフルエンザ感染疑いに関する民間医療機関との連携制度の運用が開始されたが、患者の診察・検査は円滑にできているのか。制度の詳細と運用の実態について問う。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症患者の受入れをする民間病院への経済的支援について  (要旨) 新型コロナウイルス感染症患者の受入れをする民間病院の経済的負担を軽減するために、市として支援を実施すべきだと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	7	議員名	森 勝子(維新の会)
発言事項	<p><b>1 コロナ感染症対策の今後の方針</b></p> <p>(1) 市内のPCR検査の現状と今後の取組について  (要旨) 国の指定感染症2類相当の見直し検討及びPCR検査の積極的拡大の方針を受け、市の検査体制の状況をお聞かせください。</p> <p>(2) 軽症者、中等症患者の受入先について  (要旨) 少年自然の家を軽症者用の宿泊施設にすると案は撤回されましたが、その代替案の進捗状況をお聞かせください。</p> <p><b>2 明石市のICT教育の今後の見通し</b></p> <p>(1) コロナ禍において急ピッチで進めているGIGAスクール構想について  (要旨) 新学習指導要領では、「何を学ぶか」でなく、「どのように学ぶか」も重視して授業を改善していくと発表されていますが、今後本市では、ICTを活用しどのような授業になっていくのか、見解をお聞かせください。</p> <p><b>3 就学前(幼児)教育の取組</b></p> <p>(1) 現在の就学前教育のカリキュラムについて  (要旨) 現在の保育園、幼稚園での就学前教育の取組と今後の方針をお聞かせください。</p>		

発言順位	8	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p><b>1 市民の命と人権を守る新型コロナウイルス感染症対策について</b></p> <p>(1) 市民の命を守る体制について  (要旨) 市民の命を守るための窓口体制は適切か。軽症者への対応等、医療体制はどのようにしていくのか。県との十分な連携が必要であるが、現状と今後の体制について市の見解を問う。</p> <p>(2) 市民の人権を守ることについて  (要旨) 新型コロナウイルスに感染した市民の心のケアや人権を守るための支援はできているのか、市の見解を問う。</p> <p><b>2 「学ぶ権利」を保障する「夜間中学」について</b></p> <p>(1) 就学機会の保障について  (要旨) 明石市民には、教育機会確保法で規定されている夜間中学での就学機会は保障されているのか。夜間中学を設置していない本市においては、設置している近隣市と協定を結ぶなどの連携が必要であるが、対応できているのか、見解を問う。</p> <p>(2) 夜間中学の周知や相談体制について  (要旨) 2015年からは、不登校等で十分に義務教育を受けることができずに卒業した市民にも夜間中学への門戸が開かれている。対象市民への周知や相談体制が必要であるが、見解を問う。</p> <p><b>3 子どもの声を聴き、子どもの権利を守る「子どもアドボカシー」の導入について</b></p> <p>(1) 本市の取組状況について  (要旨) 明石市こども総合支援条例に規定されている子どもの最善の利益を実現することを目的とした相談支援体制の整備、子どもへの分かりやすい情報提供、意見表明や社会参加の促進はできているのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 子どもの声を聴く「アドボゲイト」の養成について  (要旨) 本当の子どもの声を聴くためには、自信を持って自分の気持ちや願いを話せるよう励まし、支援するスキルが必要である。本市の子どもに関わる者は、子どものマイク役と言われるアドボゲイトのスキルを身につける必要があると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 専門性の高い第三者による子どもアドボカシー制度の導入について  (要旨) 本年3月に策定された明石市社会的養育推進計画に基づき、明石こどもセンターにおいては、特に専門性の高い第三者による子どもアドボカシー制度の導入が必要であると考え、市の見解を問う。</p>		

発言順位	8	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p><b>4 次世代につなぐ環境にやさしいエネルギー政策について</b></p> <p>(1) おうち発電の推進について  (要旨) 再生可能エネルギーの市民啓発、市民参画、災害時の電源確保等を目的に、送電網から切り離れた「おうち発電(ベランダ発電)」への補助や講座を推進してはどうか、市の見解を問う。</p> <p>(2) やさしい電気への切替えの取組について  (要旨) 吹田市が実施している「みんなで簡単やさしい電気の切替」のような市民が再生可能エネルギー比率の高い電気への切替えを検討しやすくなるような取組をしてはどうか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 公共施設への再生可能エネルギー導入や省エネ対策について  (要旨) 2050年CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロの実現に向けて、公共施設への太陽光パネルの設置、省エネ施設への転換など、市としての積極的な取組が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(4) 公共施設への環境にやさしい電力調達について  (要旨) 公共施設の電力調達における競争入札においては、環境配慮方針を策定し、再生可能エネルギー比率の高い電力の調達を行うべきではないか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	9	議員名	穂原 成人 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 コロナ禍における学校教育について</b></p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染拡大による学級閉鎖などの基準は設けているのか。  (要旨) インフルエンザ感染拡大時のような基準を公表すべきではないか。</p> <p>(2) 学級閉鎖発生時などの学習時間の確保策について  (要旨) 春の学校閉鎖により減少した学習時間の確保に取り組んでいる中、新たに学級閉鎖などが発生した場合の対策は。</p> <p>(3) 小中学校の修学旅行について  (要旨) 市として、実施・中止などの判断基準を設けているのか。また、中止となった場合の費用負担をどのように考えているのか。</p> <p><b>2 こども食堂の現在の取組について</b></p> <p>(1) 市内の実施件数と感染予防対策の指導や支援について  (要旨) 各こども食堂でボランティア団体等による運営がなされているが、実施に当たっての問題点などについての相談や指導、支援の状況を聞く。</p> <p>(2) テイクアウトデリバリーサービスの利用状況と、今後の考え方について  (要旨) これまでの実施状況を検証し、さらなる事業の充実を図るための方策について聞く。</p> <p><b>3 環境関連施策について</b></p> <p>(1) 不法投棄やポイ捨て防止の対策と成果について  (要旨) ごみの不法投棄などとともに、コロナ禍においてマスクのポイ捨てなどが目立つようになっている。後に分別しにくい状況が見受けられるが、本市の取組を聞く。</p> <p>(2) 次期ごみ処理施設建設に向けた現在の取組状況と考え方について  (要旨) 高額な建設費用を伴う施設であり、費用を低減し、長寿命化を図るための考え方を聞く。</p>		

発言順位	10	議員名	松井久美子（公明党）
発言事項	<p><b>1 令和2年度高齢者インフルエンザ予防接種の無償化について</b></p> <p>(1) 令和2年度高齢者インフルエンザ予防接種の無償化について  (要旨) インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念される秋冬に備え、高齢者の重症化リスクの回避及び医療機関の負担の軽減につながることから、高齢者が無償で予防接種を受けられる体制が必要である。</p> <p><b>2 「SDGs未来都市」構築に向けた取組について</b></p> <p>(1) 「SDGs未来都市」としての市民への周知と具体的な取組について  (要旨) 本市は国から「SDGs未来都市」に選定されたことから、市民が身近なことで持続可能な開発目標につながる行動を実践できる内容を提示すべきである。</p> <p><b>3 明石市のGIGAスクール構想の取組状況について</b></p> <p>(1) 高速LAN整備や機材の調達の状況について  (要旨) 令和2年度中に市立小・中・養護学校の児童生徒への1人1台の端末配備が完了する予定であるが、現在の高速LAN整備や機材の調達の状況について問う。</p> <p>(2) ICT活用を推進する教員の研修及び人材育成について  (要旨) 1人1台の端末が整った先には、ICT教育を進めるに当たって教員の指導力が問われる。市として、ICT活用を推進する教員の研修及び人材育成についてどのように準備をしているのか。</p> <p><b>4 市道魚住2号線・山手環状線の周辺におけるバス路線の確保について</b></p> <p>(1) JR魚住駅北周辺のたこバス・金ヶ崎ルートの変更について  (要旨) 地域住民は、JR大久保駅へのアクセスを要望しており、市道魚住2号線・山手環状線西工区が開通したにもかかわらず、市民の声が反映できないもどかしさがある。</p> <p>(2) 民間バス路線との調整について  (要旨) 大久保町茜地域への民間バス路線が新設されたが、金ヶ崎方面は取り残されている現状があることから、さらなる対策が必要ではないか。</p>		

発言順位	11	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p><b>1 コロナに負けない生活支援と感染防止策について</b></p> <p>(1) 経済的な生活困窮支援の充実について  (要旨) 今回の新型コロナウイルス感染症の影響により景気は悪化しており、厳しい状況にあります。所得の減少による生活困窮の相談には切なるものを感じます。アルバイトやパートがなくなった学生やひとり親家庭、非正規雇用で所得が減少した方々へのサポートは万全だったのでしょうか。現状と、これまでの本市の対応、及び今後の対応をお聞かせください。</p> <p>(2) 感染拡大防止に有効なオンライン化について  (要旨) 第2波、第3波も鑑み、人と人との接触機会を減らす体制づくりが急務です。この間、本市のデジタル化、オンライン化は進んだのでしょうか。緊急連絡、各種窓口業務、手続申請や内部の電子決裁など、事務作業のリモート・オンライン化は行政が率先して行うべきです。新庁舎の整備の時期とも重なりますが、AI（人工知能）の導入も見据えた感染防止に不可欠な業務のオンライン化の取組をお聞かせください。</p> <p><b>2 「日本一安全なまち明石」の実現のための危機管理について</b></p> <p>(1) 河川の改修について  (要旨) コロナ禍でも自然災害に対する備えは怠ることはできません。近年では、台風の規模が大きくなり、想定を上回る事態が頻繁に起こるなど、これまでの常識を超える風水害に万全の対策が求められます。集中豪雨で浸水被害が起こらないよう、本市の大きな7つの河川での越水・決壊など最悪の事態を想定した改修は万全なのでしょうか。</p> <p><b>3 コロナに負けない健全財政について</b></p> <p>(1) 財政健全化の取組について  (要旨) 令和元年度の一般会計決算では経常収支比率の改善が見られません。財政を圧迫している要因は何なのでしょうか。見解をお聞かせください。</p>		

発言順位	11	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p>(2) 今後の取組について</p> <p>(要旨) もし、第1波を上回る新型コロナウイルスの感染被害が起こり経済状況がさらに悪化すると、本市の財政も多大な影響を受けるため、行財政改革が必要です。また、税収に直結する経済動向を少しでも好転させるためにも、コロナに負けない地場産業の育成に注力すべきです。人口増策や地場産業の育成による税収増策など、まちを元気にする将来を見据えた持続可能な取組も併せてお聞かせください。</p>		



発言順位	12	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<b>1 新型コロナウイルス感染症対応について</b>		
	(1) 本市の新型コロナウイルス感染症の発生状況について (要旨) 4月に市内で初めての新型コロナウイルス感染者が確認されてから5カ月が経つが、発生状況と今後の見通しについて問う。		
	(2) 本市の検査体制について (要旨) 重症化リスクの高い高齢者施設や障害者施設など、特定施設において積極的に検査を実施する必要があると考えるが、どうか。		
(3) 医療体制の状況と病床の確保について (要旨) 後に撤回されたが、少年自然の家を無症状、軽症者向けの宿泊療養施設として利用する方針を市が発表したこともあり、市民は大変不安を感じている。医療体制の状況と病床の確保について問う。			
<b>2 「3密」を避けることが困難な福祉施設について</b>			
(1) 介護施設について (要旨) もともと、介護の現場は接触しなければならない仕事のため、新型コロナウイルスの感染リスクが高い「3密」の状況を避けることが難しいと考える。現状と今後の方針はどうか。			
(2) 障害者施設について (要旨) 障害者施設も接触を避けることが困難な現場である。市内の障害者施設の現状と今後の方針はどうか。			
<b>3 新型コロナウイルス感染拡大による影響について</b>			
(1) 児童虐待の防止の取組について (要旨) 感染拡大による外出自粛などでリスクが高まり、児童虐待が増加していると聞く。現状と今後の方針について問う。			
(2) ひきこもり対策について (要旨) コロナ禍によって、ひきこもり当事者が社会と接する機会がさらに減り、孤立感がより深まったり、ひきこもりから脱却するチャンスを失ったりする事態に直面していると聞く。現状と今後の方針について問う。			

発言順位	13	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>1 西明石町を中心とした和坂校区内の浸水対策について</b></p>		
	<p>(1) 今までの対策とその成果について  (要旨) 平成26年9月10日の本会議にて質問をさせていただきましたが、その後、市としてはどのような対応と対策を講じてこられたのかを問う。</p> <p>(2) 今後の抜本的、具体的な対策について  (要旨) この地区は合流式の排水設備となっており、住宅が増えれば増えるほど排水量は増え、今まで以上の降水があれば浸水の可能性がより高くなります。その抜本的、具体的な対策を問う。</p> <p>(3) 地域住民の要望や意見等をどのように集約し、生かされているのか。  (要旨) 住民の立場に立って抜本的な対策を講じていただきたいが、そのためには住民との連携が不可欠である。</p>		
発言事項	<p><b>2 明石の将来を担う今後の農業施策について</b></p>		
	<p>(1) 明石の今後の農業施策について  (要旨) 世界的な食糧難に対応するためにも、自国で自給自足できる体制整備は喫緊の課題です。本市としての対応は。</p> <p>(2) 農地等利用最適化推進施策に関する意見提案について</p> <p>①提案書提出以降の経過について  (要旨) この提案書は、平成31年3月28日に明石市農業委員会として、都市地域における農地保全と農地利用の最適化の推進に向けた施策の改善・拡充を図るため、農業委員会等に関する法律第38条の規定に基づき市長に意見提案をされたものであるが、その後の経過について問う。</p> <p>②提案書に対する委員会への具体的な回答内容について  (要旨) 法に基づき提出されている意見提案である以上、市としても責任を持って、明確かつ説得力のある回答を農業委員会に示すべきであるが、その有無と内容を問う。</p> <p>③農業委員会とどのような意見交換や説明をされてきたのか。  (要旨) 提案書が提出されてからすでに1年半が経過しようとしているが、この間、どのような状況であったのかを問う。特に意見交換や説明の場はあったのか。</p> <p>④今後、この提案に対してどのように取り組んでいくのか。  (要旨) すぐに結論の出る内容ではなくとも、途中経過なり、市の基本的な方向性を示していく、あるいは農業委員会としての具体的な意見の内容確認や情報収集など、合意に向けての協議を定期的実施していくことは必要なことと考える。</p>		

発言順位	13	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<b>3 スマートフォンを活用した防災対策について</b>		
	<p>(1) スマートフォンを活用した防災対策について  (要旨) 平成26年3月4日の本会議質問において、スマートフォン向け明石市アプリを立ち上げないかと提案をさせていただいたが、その後スマートフォンを活用した防災の取組について問う。</p> <p>(2) AIを活用したLINEアプリの導入について  (要旨) AIを活用したLINEアプリの導入をすることにより、被害が起こった現地での動画撮影や写真撮影を通じ市民からの的確な情報提供が得られれば、市としては被害の立体的な把握ができ、その対応がより迅速・適切に実施できる。</p>		
発言事項	<b>4 明石市版おくやみハンドブック作成について</b>		
	<p>(1) 明石市版おくやみハンドブックを作成しないか。  (要旨) 親族がお亡くなりになった時には、本当に様々な手続きが必要となる。この手続きは、市だけの問題ではなく、相続から始まり、広く医療、介護、年金、各種保険、預貯金、電気・ガス料金、各種税金、さらにはペットの問題など数え上げればきりがありません。そこで、それらの手続きが一目瞭然となる案内冊子を作成しないか。</p>		

発言順位	14	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<b>1 新型コロナ対策に係る介護報酬特例措置による利用者の負担増について</b>		
	<p>(1) 市の現状と問題点について  (要旨) 国はコロナ対応に係る臨時的な措置として、通所介護事業所等に対しサービス時間に応じた区分により算定する報酬について、通常の2区分上位の報酬区分で算定し、利用者に請求できることとしました。  この措置により、利用していないのに、利用したように見せかけて料金を上乘せしたり、既上限までサービスを利用している利用者への対応、さらには上乘せに同意した利用者と同意しない利用者との不公平は生じないのかなどの懸念がある。本市の現状について聞く。</p> <p>(2) 利用者負担とならないよう市独自の取組が必要ではないか。  (要旨) 長野県飯田市では今回の特例措置を利用しない事業所に利用した場合と同じ補助を行い、利用者の負担が増えないようにしている。</p>		
	<b>2 小中学校給食に安全・安心の国産小麦を使ったパンを</b> <p>(1) 小中学校の給食に使われているパンについて  (要旨) 本市の小中学校給食のパンに使われている小麦粉の産地はどこなのか。また、農薬グリホサートの残留調査は行われているのかを聞く。</p> <p>(2) 県内の学校給食で国産小麦のパンを使用している状況は。  (要旨) 県内の学校給食でも国産小麦のパンを使うところが増えてきていると聞いているが、現状はどうなのかを聞く。</p> <p>(3) 子どもたちに安全な食材を。  (要旨) 安全・安心の面から、また、地産地消を進めるためにも、本市も学校給食には国産・県内産小麦のパンを使用してはどうか。</p>		
<b>3 子どもたちに少人数学級をプレゼントしよう</b>			
<p>(1) 少人数学級に対する市の考え方について  (要旨) コロナ禍において、子どもたちの教育を受ける権利を保障するには少人数学級の実現が必要だと考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 国や県に予算措置を行うよう、市として強力に要望を行ってはどうか。  (要旨) 国でも少人数学級推進の動きが見られる今がチャンスである。実現には国や県による予算措置が不可欠であり、市として強力に要望するべきではないか。</p>			

発言順位	14	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>(3) 国の動きを待つのではなく、まず明石から。  (要旨) 本市では全小学校で1年生の30人学級を実施している。全学年一気に30人学級が無理ならば、可能な方法で段階的に拡大してはどうか。</p> <p><b>4 高丘小中一貫教育校について</b></p> <p>(1) 形態について  (要旨) 他市では小学校、中学校の統廃合の一環として行われているところもあるが、本市はどうか。義務教育学校(小学校と中学校を1つの学校に)、併設型(同一設置者の学校)、連携型(異なる設置者の学校)どの形態か。学年の呼称は、1年生から9年生か、それとも小学1年生から6年生と中学1年生から3年生なのかを聞く。</p> <p>(2) 学習内容について  (要旨) 一貫校では外国語教育を小学校1年生から行うが、3年生から始める他校との差は。プログラミング教育は他校でも学べるのか。ICT教育を充実させるとあるが、他校との違いはどうなるのかを聞く。</p> <p>(3) 通学区域特認校制度の導入について  (要旨) 市内全域からの通学を可能とするとあるが、本来の学区内の児童生徒が優先となるのか、募集より応募が多くなった場合はどのように選ぶのか。配慮の必要な児童生徒についても同じように応募ができるのか。</p> <p>(4) 今後の展開について  (要旨) 二見中学校区、錦城中学校区なども検討されていると聞くが、順次、全ての小中学校で実施していくのかを聞く。</p>		

発言順位	15	議員名	宮坂 祐太 (フォーラム明石)
発言事項	<p><b>1 コンパクトシティの推進と立地適正化計画の策定について</b></p> <p>(1) コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進について  (要旨) 新型コロナウイルスの感染拡大により、今後、全国規模では地域分散型社会への転換を希求する声がより大きくなることも想定されますが、市域内における都市機能や居住区域の誘導・集約化の議論は、防災の観点からも引き続き積極的に進める必要があると認識しています。</p> <p>そこで改めて、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進について、従来からの論点である今後の本市の人口推計も踏まえ、市の考え方をお伺いします。</p> <p>(2) 中心市街地活性化基本計画の後継計画としての立地適正化計画の策定について  (要旨) コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進に欠かすことのできない立地適正化計画の策定については、先の6月議会総務常任委員会で示された、中心市街地活性化基本計画が本年度末で終了することにより、これまでとは前提が大きく変化することになります。</p> <p>市は中心市街地活性化基本計画に代わる新たな計画について、「中心市街地を含めた市内全域の均衡ある発展」を掲げていますが、それを実現するためには、明石港周辺利活用計画に加え、市内全域を対象とする立地適正化計画も併せて策定することが重要と考えます。</p> <p>立地適正化計画の策定により国からの財政支援につなげ、未来を見据えたまちづくりを効果的に行うべきと考えますが、市の認識をお伺いします。</p>		

発言順位	16	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>1 令和元年度決算について</b></p> <p>(1) 財政状況について  (要旨) 扶助費などの義務的経費が年々増加し、財政構造の弾力性を示す経常収支比率が悪化している。生活保護費は横ばいながら、児童福祉費が急激に増加している。市の政策としてバランスを欠いていると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 水道事業会計について  (要旨) 令和元年度決算においては、営業利益、経常利益及び純利益は一定程度あるものの、前年度に比べて減少している。将来に向けて持続可能な経営になっているのか、市の見解を問う。</p> <p><b>2 新型コロナ禍における明石市の公共交通機関について</b></p> <p>(1) 市民の足となる公共交通機関の現状について  (要旨) 新型コロナ禍で乗客が減少した公共交通機関は、持続可能な状況なのか。市としてどのように把握しているのか、見解を問う。</p> <p>(2) たこバス (コミュニティバス) の現状と今後の在り方について  (要旨) 高齢社会の中、コミュニティバスが重要な役割を担うと考えられる。新型コロナ禍による影響で乗客は減少傾向になっていると思われる。現状と今後について、市の見解を問う。</p> <p><b>3 市内学校における新型コロナウイルス感染症防止対策のための教育環境整備について</b></p> <p>(1) 熱中症対策について  (要旨) 9日間の夏休みを終え2学期を迎えたが、9月に入り猛暑の中、ほとんどの学校で、体育大会・運動会の練習が行われている。新型コロナ感染が懸念されるが、熱中症も心配される。子供たちが安心して学校生活を過ごせるよう、どのように対応するのか。市の見解を問う。</p> <p>(2) スクールサポートスタッフ、学習指導員の増員について  (要旨) 新型コロナ禍での現状において、学校現場のサポート体制について市の見解を問う。</p> <p>(3) 新型コロナによるいじめや不安ケア対策について  (要旨) 新型コロナの感染拡大に伴って子供たちの間に広がる不安をケアするため、どのような取組をしているのか。市の見解を問う。</p>		

発言順位	16	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p data-bbox="311 271 916 304"><b>4 併設型小中一貫教育校の開設について</b></p> <p data-bbox="336 315 1414 398">(1) 本市で初めての2021年春に開設予定の高丘小中一貫教育校での少人数学級編制の意図について            (要旨) 小学校1年生から中学校3年生までの9年間全てを30人学級編制とする計画であるが、どのようなクラス編制になるのか。質の高い教育を期待するが、地域の子供たちの成長をどのように見ていくのか。</p> <p data-bbox="336 595 916 629">(2) 通学区域特認校制度の導入について            (要旨) 市内の中学校13校のモデル校として開設されるが、学校間の人数のバランスが悪くなったり、格差ができたりするおそれがある。これらの問題に今後どのように対処していくのか。市の見解を問う。</p>		



発言順位	17	議員名	家根谷 敦子 (スマイル会)
発 言 事 項	<p><b>1 やさしいまちづくりのさらなる推進について</b></p> <p>(1) 災害発生時の要支援者支援について            (要旨) 災害発生時の要支援者の避難には、地域との連携や協力が必要不可欠である。ハザードマップ上の危険地域である明石川流域や沿岸地域などだけではなく、市内全域での支援を進めていく必要があると考えるが、現在の取組と今後の方向性をお尋ねしたい。</p> <p>(2) 合理的配慮の提供に係る公的助成制度の現状とさらなる充実について            (要旨) 障害者配慮条例に基づき公的助成制度がスタートして5年になる。現在までの実績と、今後の取組や課題についてお尋ねしたい。</p> <p>(3) 子育て支援策の充実について            (要旨) 本市の子育て支援施策「3つの無償化(中学3年生までの医療費、第2子以降の保育料、中学校給食費)」について、市民から拡充を希望する声がある。今後の予定、優先度など市の考えをお尋ねしたい。</p>		

発言順位	18	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 令和元年度明石市一般会計歳入歳出決算について</b></p> <p>(1) 2款1項1目 秘書事務事業について (要旨) 市長への意見箱の運用状況について問う。</p> <p>(2) 3款4項2目 生活保護運営事業について (要旨) 生活保護費の紛失金の今後の対応について問う。</p> <p>(3) 5款1項4目 土地改良事業について (要旨) 林谷池公園用地定点観測調査の結果と今後の見通しについて問う。</p> <p><b>2 新型コロナウイルス感染症対策について</b></p> <p>(1) PCR検査体制の拡充について (要旨) 無症状者の早期発見と保護・隔離が感染拡大防止に有効である。よって、防疫の観点から、PCR検査の対象を大幅に広げべきと考える。見解を問う。</p> <p>(2) インフルエンザ対策について (要旨) 今冬、インフルエンザと新型コロナウイルスが同時に流行するおそれがある。インフルエンザワクチンの接種率を引き上げるため、思い切った助成制度の拡充が必要と考える。見解を問う。</p> <p>(3) 学校園における対策の充実について (要旨) 他都市において、センサー方式による自動水栓を学校の手洗い場に設置するところがある。見解を問う。</p> <p>(4) 学校園における衛生管理について (要旨) 文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」(2020.9.3 Ver.4)に係る認識について問う。</p> <p><b>3 空家等対策計画について</b></p> <p>(1) 計画の策定が遅れたことについて (要旨) 認識を問う。</p> <p>(2) 明確な落ち度について (要旨) 見解を問う。</p> <p>(3) 責任の所在について (要旨) 見解を問う。</p>		

発言順位	19	議員名	吉田 秀夫（フォーラム明石）
発言事項	<p><b>1 コロナ禍における災害対策について</b></p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症が拡大する中での災害時避難所マニュアルの作成について  (要旨) 新型コロナウイルスの感染が拡大する中、災害時の避難所での密閉・密集・密接の3密の回避をどのように担保するのか。また、発熱者にはどのように対応するのか。新型コロナウイルス陽性患者との濃厚接触者に指定されている人の避難についての考え方は。</p> <p>(2) 住民避難を徹底するための実効性ある取組について  (要旨) 避難行動要支援者の人たちをいかに安全に避難させるのか。</p> <p>(3) 災害関連死から命を守る取組について  (要旨) 近年、災害での関連死の増加傾向が指摘されている。本市における関連死防止の考え方は。</p> <p><b>2 超高齢社会への対応について</b></p> <p>(1) 介護職員の人材確保と介護事業者への支援について  (要旨) 介護人材確保に向けた対策について市の考え方は。</p> <p>(2) 高齢者虐待の防止について  (要旨) 平成18年4月に、高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律が施行されている。本市の現状と対応について問う。</p> <p><b>3 新型コロナウイルス感染症対策について</b></p> <p>(1) 新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行への対策について  (要旨) 同時流行はリスクが高いが、対策は。</p> <p>(2) 市民病院への財政支援について  (要旨) 市民病院が患者の受診控えや感染者用病床の確保等で減収・赤字となれば、市として直ちに財政支援措置を講じるべき。</p> <p>(3) 明石市役所のテレワークの推進について  (要旨) 新型コロナウイルス感染症が収束しない中、大規模災害などの非常事態が今後発生した場合の備えが必要と考える。</p> <p>(4) 全ての市内小中学校における少人数学級の実施について  (要旨) 今の40人学級では3密は避けられない。今こそ少人数学級を実現すべき。</p>		

発言順位	20	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発言事項	<b>1 子どもたちの給食について</b>		
	(1) 中学校給食について (要旨) 育ち盛りの中学生に提供している学校給食の内容、在り方について、見解を問う。		
	(2) 学校給食の残食について (要旨) 残食率が改善されていない。SDGsの観点からも、残食を減らす取組をさらに進めるべきと考える。また、給食残渣は焼却処分されているが、食品ロス削減や環境学習の一環として、堆肥化・飼料化などリサイクルの取組につなげられないか。		
(3) 幼稚園給食について (要旨) 9月から始まっている市立幼稚園の給食について、現状、課題等を問う。			
<b>2 災害対策における女性や多様な視点の必要性について</b>			
(1) 避難所における女性支援について (要旨) 近年の大災害において、避難所での暴力被害が明らかになっている。被害防止のための取組が必要と考えるが、市の見解を問う。			
(2) 防災・災害対策における女性参画について (要旨) 女性の参画を促進するための取組が必要と考えるが、市の認識を問う。			
<b>3 駅前喫煙所について</b>			
(1) 喫煙所撤去後の状況について (要旨) 感染症拡大防止の措置として駅前喫煙所が閉鎖されたが、喫煙マナーの悪化が見受けられる。見込まれる効果と今後の対応について、見解を問う。			
(2) 快適な喫煙所の設置について (要旨) これまでの喫煙所設置、喫煙マナーに関する対策だけでは十分な改善は見込めない。喫煙者の利便性に配慮した施設を設置することも解決の糸口になると考えるが、見解を問う。			